

ザンビアダイアリー



いるあざ しょくぶつ
色鮮やかなザンビアの植物たち

ザンビアでは、9月、10月ごろになると、色鮮やかな花木が咲き、私がある村も美しく彩られます。ザンビアに来てから約1年が経ったことを花が知らせてくれました。日本の10月、11月ごろは、紅葉の季節ですね。普段あまり気につけない花や木々に、目を向けてみるのもいいですね。



ジャカランタ
あおぞら うすむらさきいろのほな すず
青空とこの薄紫色の花が、涼しい
気持ちにしてくれます。



かえんじゆ
火炎樹
その名の通り、暑い季節にふさわしい
強烈な朱色です。



ブルメリア
とてもかわいらしい花を咲かせ、
微かな香りがあります。

ちなみに日本の花木にはどんなものがあるか知っていますか？桜、梅、椿、藤、金木犀などがあります。みんなの学校にもあるかもしれません。日本人は昔から花をみんなで鑑賞する「花見」というすてきな文化をもっています。



マルバ〜



げんちご はな
現地語で花は「Maluba (マルバ)」

こちらは、バーロク先生です。現地語で花を意味する「マルバ」という名前を私につけてくれました。他にも候補が・・・「チョールウェ (たくさんの幸運)」、「チャボタ (いいね/すてき)」。現地語の名前をもつと、初めて会う人との自己紹介ですぐに覚えてもらえます。

じかい がっこう せんせい しょうかい たの
今回は『学校の先生たち』を紹介します。お楽しみに！

はっごう しゃいかいがいきょうりょくたい おおさわ あきひろ
発行：JICA 海外協力隊 大澤 明浩

2018年7月～2020年7月 チャールズワング初等学校/モンゼ/ザンビア共和国